

断熱効果を高める窓のエコリフォームが注目されている。国が打ち出した「住宅版エコポイント制度」でも、窓リフォームにポイントがつく予定で、関心はさらに高まっている。

二重ガラスに

東京都墨田区の伊藤力也さん(74)は昨年12月、自宅(木造2階建て住宅)の1階居間にある窓をリフォームした。単層ガラスで、外からの熱が伝わりやすく、室内が夏に暑く、冬に寒いことが不満だったためだ。

リフォームは既存の金属製の窓枠をそのまま生かし、二重ガラスに入れ替えた。二重ガラスは2枚のガラスの間に空気の層があり、外熱が伝わりにくくなっている。施工業者が事前に寸法を測って工事を行ったため、交換そのものは1時間半程度で終了した。工費は高さ180センチ、幅260センチの窓2か所(ガラス計8枚)で18万円だった。

ピシャリ断熱 窓改修



冬場はストーブにやかんをかけて加湿しており、これまで窓が結露して、床がぬれたようになっていた。しかし、窓リフォームを行ってからは、結露はなくなった。「大きな窓なので、部屋の暖かい空気がこれまでではかなり逃げていた。寒い今年の冬も平気です」と笑顔を見せる。

エコポイントつく予定

冬場はストーブにやかんをかけて加湿しており、これまで窓が結露して、床がぬれたようになっていた。しかし、窓リフォームを行ってからは、結露はなくなった。「大きな窓なので、部屋の暖かい空気がこれまでではかなり逃げていた。寒い今年の冬も平気です」と笑顔を見せる。

内窓設置も有効

窓のリフォームは、内窓を設置する方法もある。窓の部屋側に樹脂製の内窓を新たに設置する方法で、断熱効果のほか、防音効果も期待できる。ただ、ガラス戸を2回開ける手間がかかる。

マンションでは窓が共有部分になり、各世帯の判断で工事を行えないことが多い

め、内窓を設置するリフォームが向いているようだ。トステム(東京)では「インプラス」の商品名で、リフォーム用の内窓を製造している。2009年は前年比1.5倍の売り上げがあり、今年はその前年比2倍を見込んでいる。「工事を終えた人から話を聞き、興味を持つ人が増えています」と担当者は話す。旭硝子(同)では、ガラス交換と内窓設置それぞれの費用が概算で計算できる「価格シミュレーター」をホームページ(htt://www.asahiglassplaza.net/gp/reglass/price/index.html)に設けた。大まかに言えば、内窓設置の方がガラス交換よりも2〜3割割高になるといえる。

リフォームは、国土交通省が今月詳細を発表した「住宅版エコポイント」制度の対象になる。今年1月1日以降に着工し、現在国会に提出されている第2次補正予算の成立日以降に完成するリフォーム工事であることが条件だ。窓の大きさによって発行ポイントが異なる。ガラス交換では1枚20000〜70000円、内窓の設置で1か所70000〜1万80000円などで、1戸あたりの上限は30万円になる。ポイントは商品券などに交換できる。国交省では窓口(0570・071・077、午前10時〜午後6時)を設け、電話相談を受け付けている。

「ピカピカのガラスになり、部屋の中が明るくなった気分」と話す伊藤さん(東京都墨田区)。

リフォーム工事を請け負う「内山硝子」(同)マネージャーの笠原正一さんは「エコポイントが知られるにつれ、電話での問い合わせが増えてきた。住宅によってお薦めの工事方法が異なるので、ガラスや窓枠の工事を請け負う地域の工務店などに相談してほしい」と話す。